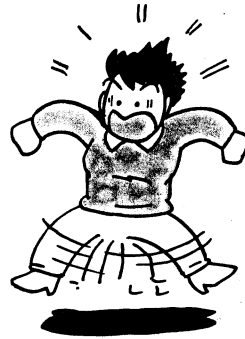
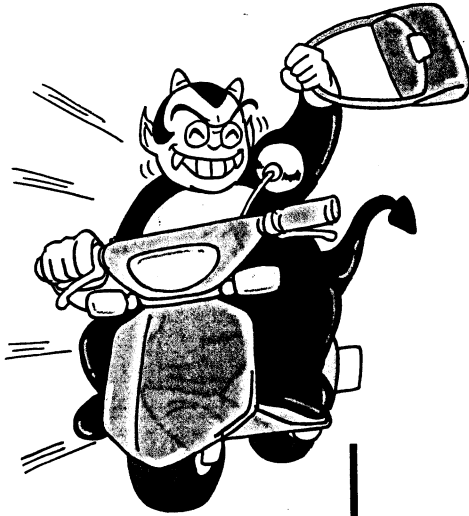


★ 発生分布 (警察署別)

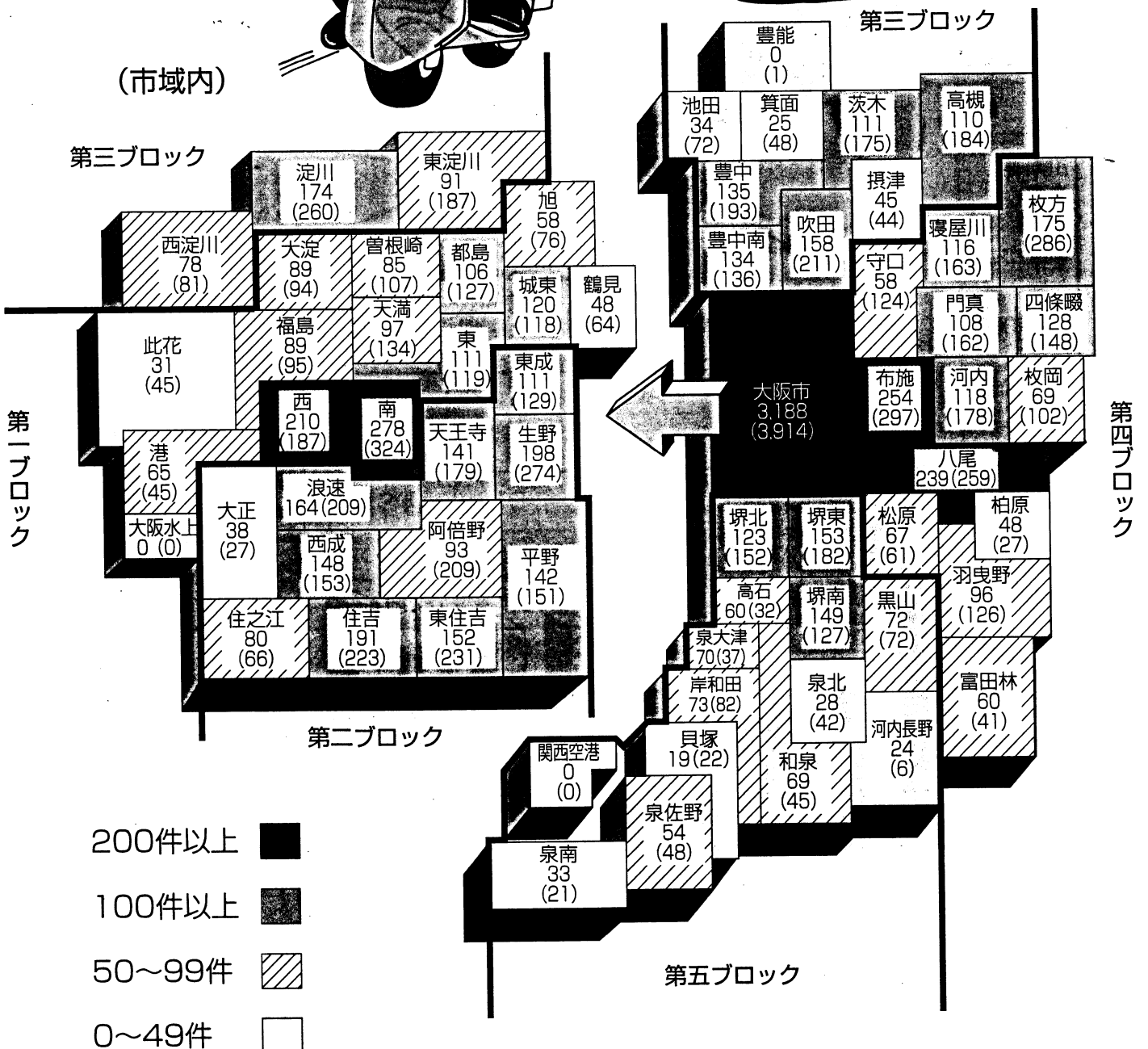
<中河内方面で多発>

ひったくり事件は、大阪市内、堺方面及び中河内方面で多発しています。



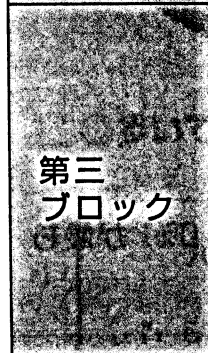

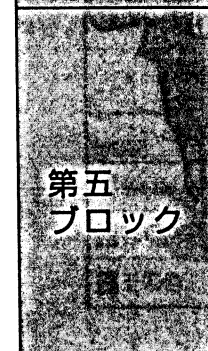
凡例	署名
上段	平成16年
下段	平成15年



(市域外)



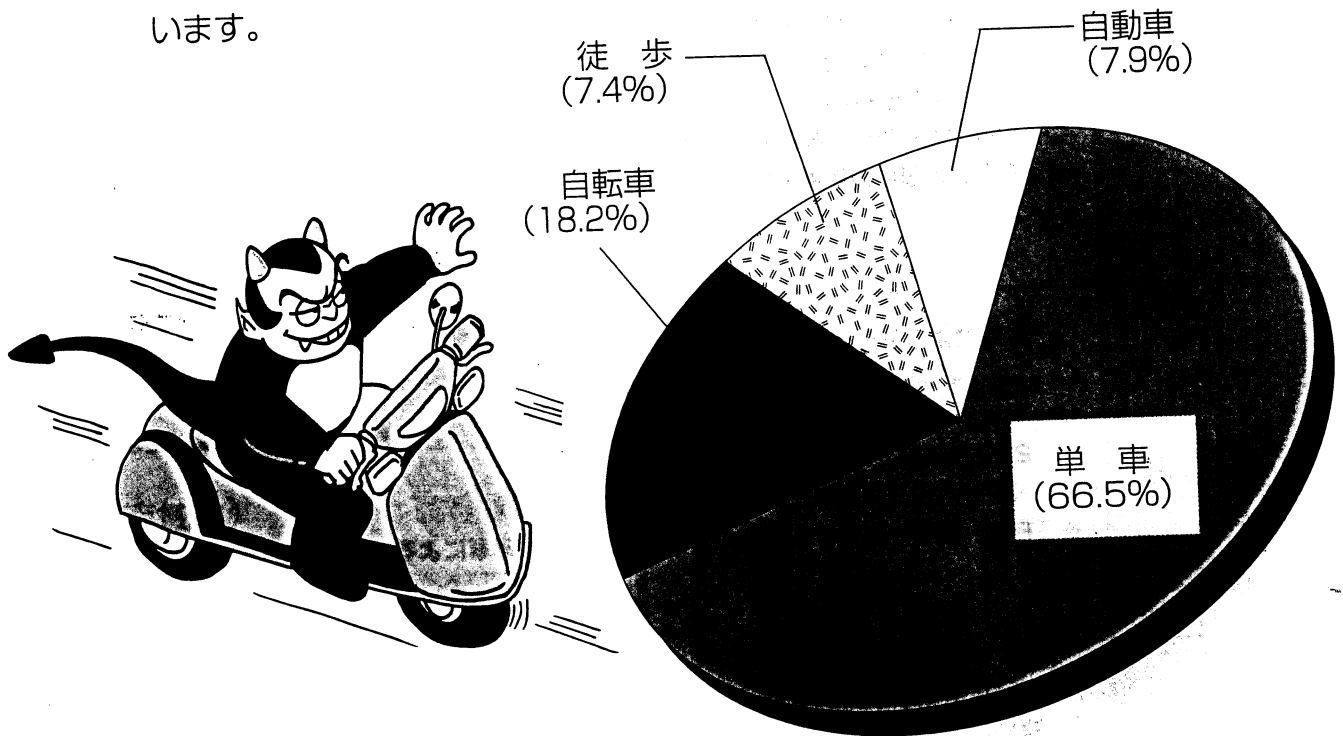
最近におけるひったくり事件の特征的傾向(地域別)

ブロック	特征的傾向
 <p>第一 ブロック</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単車による犯行が<b>66.1%</b>を占めている。</li> <li>○ 発生時間帯別では、<b>夜間(18時~24時の間)の発生が、48.0%</b>となっている。</li> <li>○ 被害者別では、女性の被害者が<b>91.8%</b>を占めており、年齢別では、<b>20歳代が32.0%</b>と最も多い。</li> <li>○ 被害態様別では、<b>65.2%</b>が<b>歩行中の被害</b>である。</li> <li>※「<b>夜間、徒歩で帰宅途中の若い女性を対象とした単車によるひったくりが多い</b>」といえる。</li> </ul>
 <p>第三 ブロック</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単車による犯行が<b>48.6%</b>を占めている。</li> <li>○ 犯行時間帯別では、<b>夜間の発生が44.4%</b>となっている。</li> <li>○ 被害者別では、女性被害者が<b>94.5%</b>となっており、年齢別では、<b>70歳以上が22.9%</b>を占めている。</li> <li>○ 被害態様別では、<b>歩行中の被害が61.9%</b>を占めている。</li> <li>※「<b>夜間、徒歩で通行する高齢の女性を対象とした単車によるひったくりが多い</b>」といえる。</li> </ul>
 <p>第三 ブロック</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単車による犯行が<b>77.5%</b>を占めている。</li> <li>○ <b>夜間の発生が52.6%</b>を占めている。</li> <li>○ 女性被害者が<b>96.1%</b>を占めており、年齢別では、<b>20歳代が25.8%</b>と最も多い。</li> <li>○ 被害態様別では、<b>歩行中の被害が52.6%</b>を占めている。</li> <li>※「<b>夜間、徒歩で通行する若い女性を対象とした単車によるひったくりが多い</b>」といえる。</li> </ul>
 <p>第四 ブロック</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単車による犯行が<b>73.3%</b>を占めている。</li> <li>○ <b>夜間の発生が44.4%</b>で、<b>昼間(12時-18時の間)の発生は23.7%</b>となっている。</li> <li>○ 女性の被害者は、<b>96.0%</b>で、年齢別では、<b>20歳代が22.9%、50歳代が18.2%</b>となっている。</li> <li>○ 被害態様別では、歩行中の被害が<b>44.9%</b>を占めており、<b>自転車の前かごからの被害は、54.8%</b>となっている。</li> <li>※「<b>夜間、自転車で通行する女性を対象とした単車によるひったくりが多い。</b>」といえる。</li> </ul>
 <p>第五 ブロック</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単車使用による犯行が<b>70.7%</b>を占めている。</li> <li>○ <b>夜間の発生が56.2%</b>で、<b>昼間の発生が、24.6%</b>となっている。</li> <li>○ 女性被害者が<b>96.4%</b>となっており、年齢別では、<b>20歳代が20.4%</b>で、<b>50歳以上で48.5%</b>を占めている。</li> <li>○ 被害態様別では、<b>歩行中の被害が50.6%</b>を占めている。</li> <li>※「<b>夜間、徒歩で通行する中高年の女性を対象とした単車によるひったくりが多い</b>」といえる。</li> </ul>

★ 犯行形態別発生状況

<単車による犯行がトップ>

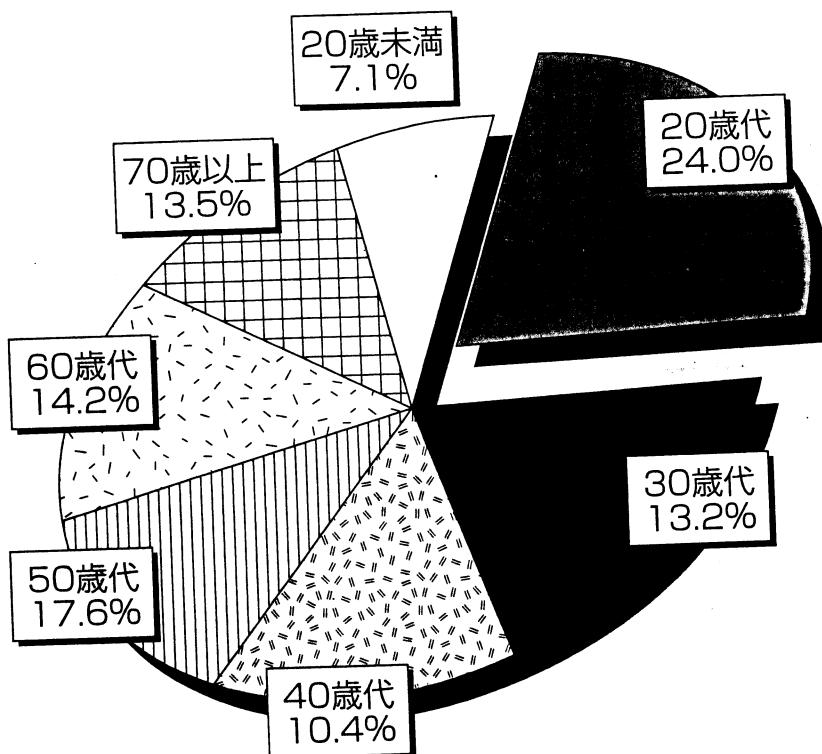
単車による犯行 (66.5%) が最も多く、次いで自転車、自動車、徒歩となっています。



★ 被害者の性別・年齢別発生状況

<20歳代がトップ>

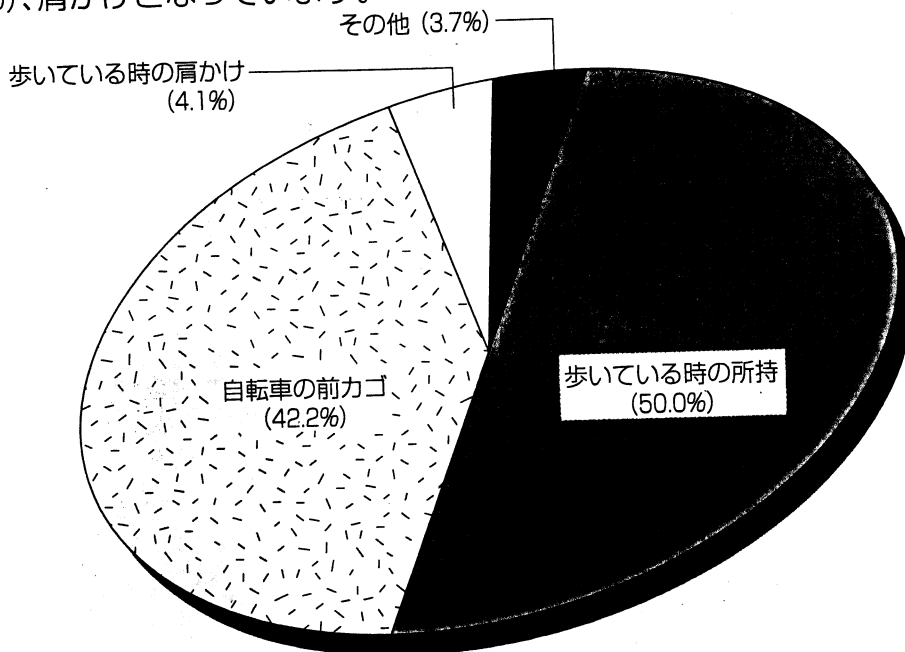
被害者のほとんどが女性 (93.9%) で、年齢別では、20歳代 (24.0%) が最も多く、次いで50歳代、60歳代、70歳代となっています。



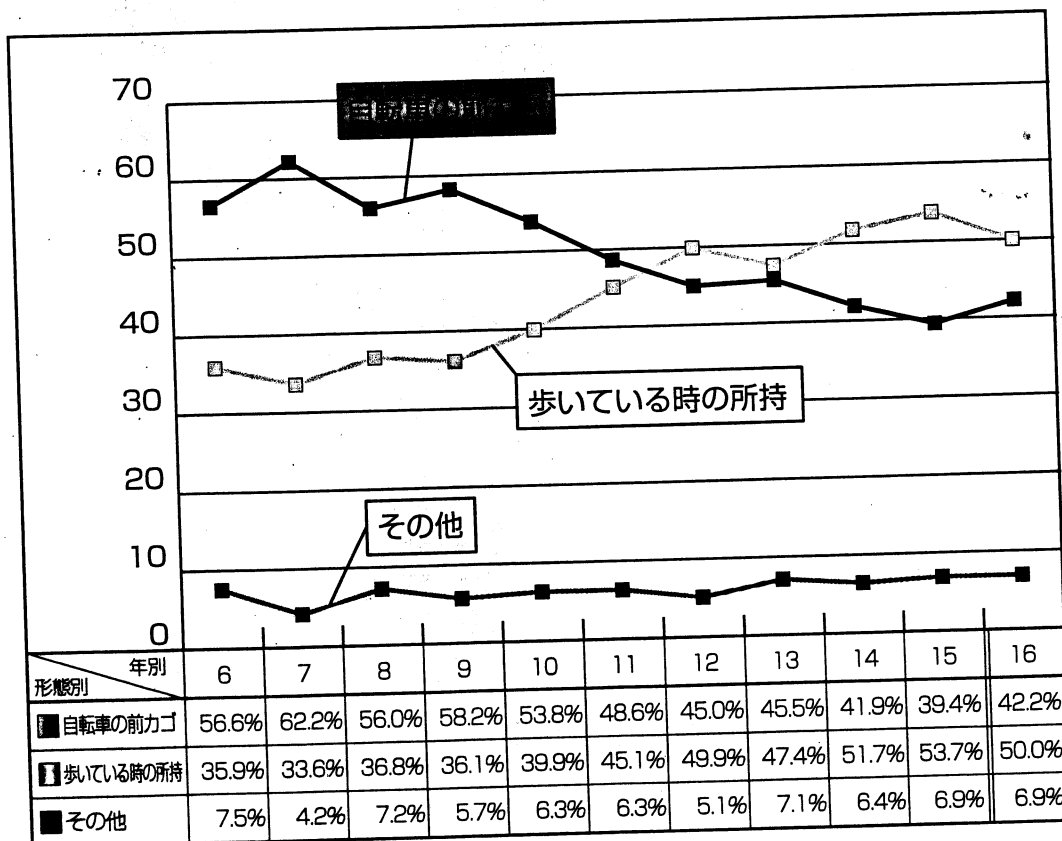
★ 被害形態別発生状況

<所持がトップ>

歩いている時の所持の被害(50.0%)が最も多く、次いで自転車の前カゴ(42.2%)、肩かけとなっています。



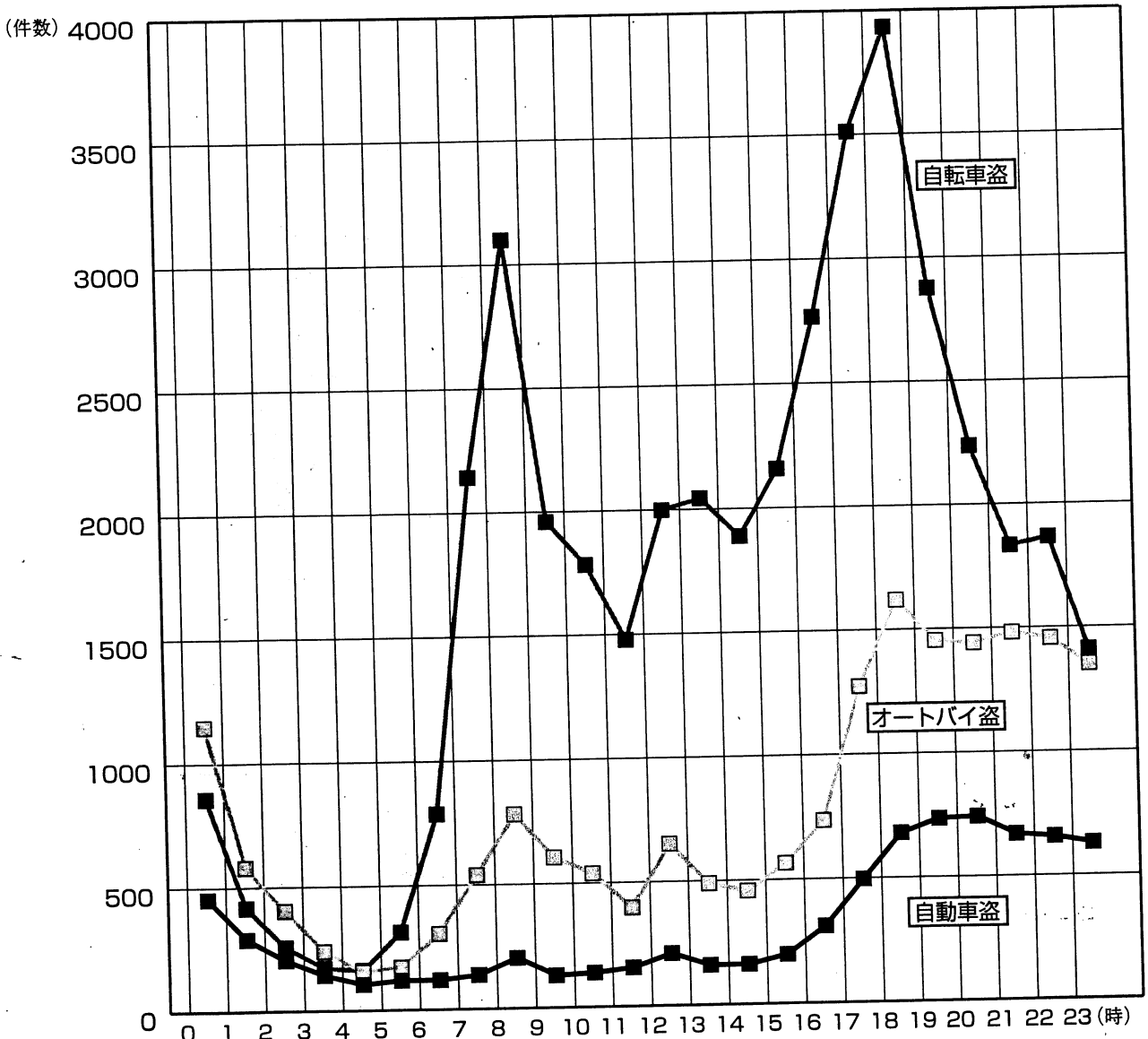
◎歩いている時の所持の被害が半数を占め、前カゴからの被害割合が微増。



# 乗り物盗

## ★ 時間別発生状況

<午後6時台に多発> 自動車盗は午後8時台、オートバイ盗は午後6時台、自転車盗は午後6時台に多発、乗り物盗全体では午後6時台をピークに午後5時から午後7時台までの間に多発しています。



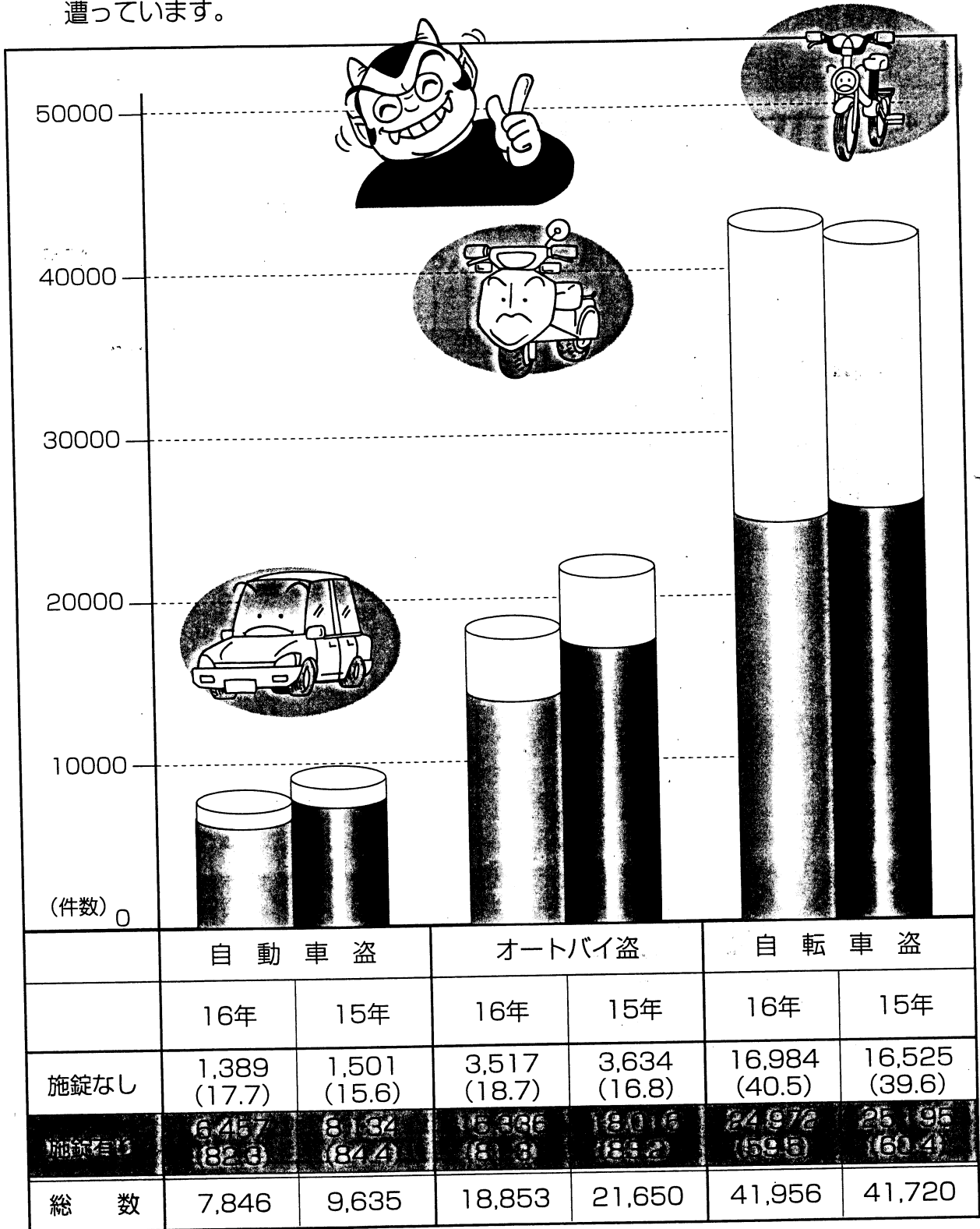
罪種・時間帯	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
自動車盗	452	290	204	143	105	119	119	137	203	130	138	156	210
オートバイ盗	1,147	580	403	239	156	172	305	540	782	606	539	397	652
自転車盗	857	416	257	171	162	313	787	2,143	3,100	1,959	1,782	1,478	1,998
計	2,456	1,286	864	553	423	604	1,211	2,820	4,085	2,695	2,459	2,031	2,860

罪種・時間帯	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
自動車盗	160	161	198	310	496	680	735	741	669	657	630	3
オートバイ盗	489	457	566	735	1,272	1,618	1,453	1,441	1,481	1,456	1,351	16
自転車盗	2,044	1,887	2,157	2,766	3,511	3,933	2,876	2,237	1,832	1,865	1,411	14
計	2,693	2,505	2,921	3,811	5,279	6,231	5,064	4,419	3,982	3,978	3,392	33

★ 乗り物盗被害時の施錠状況

<鍵をかけたからといって安心できません>

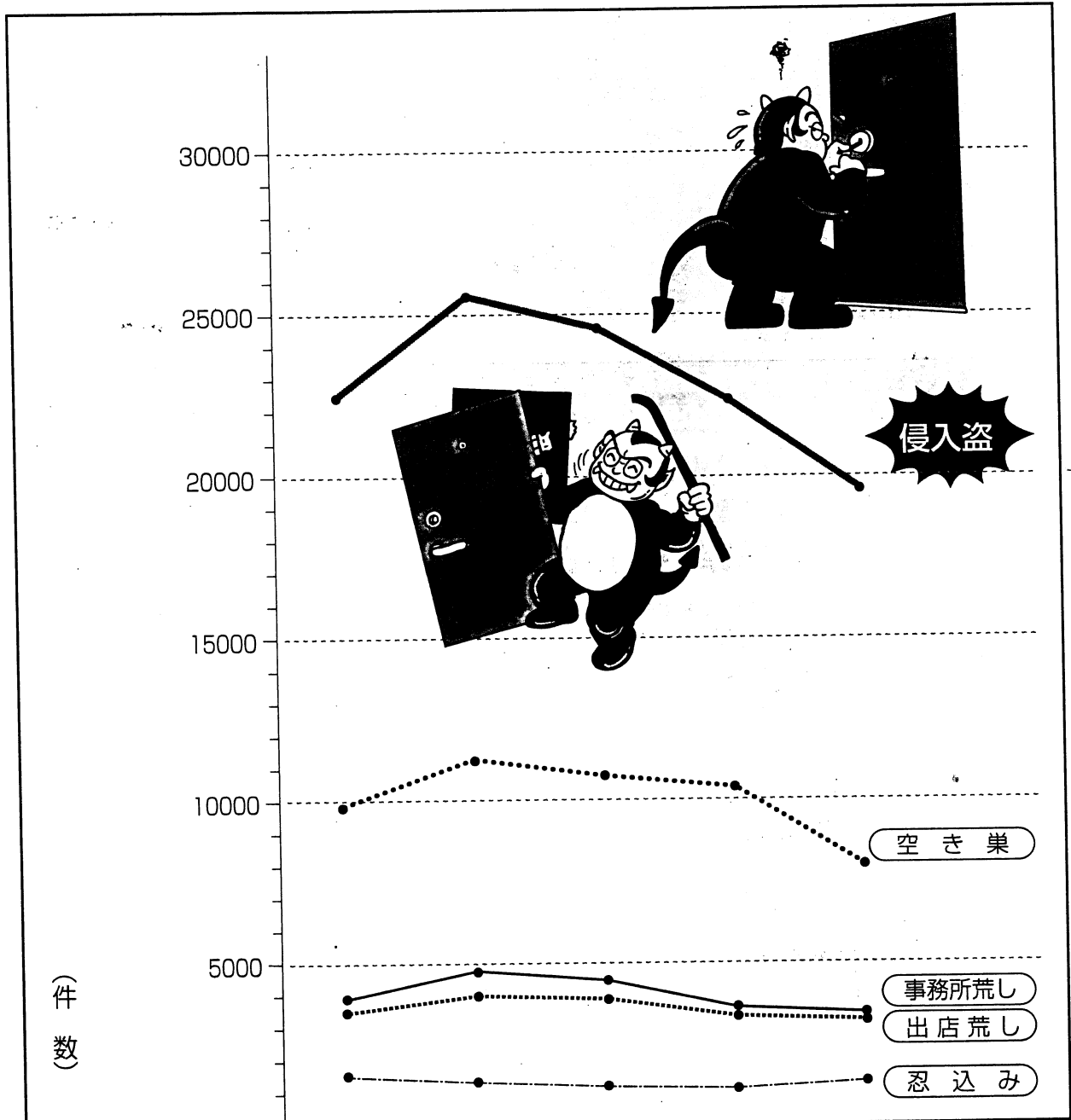
自動車盗、オートバイ盗の8割以上が、施錠していたにもかかわらず被害に遭っています。



# 侵入盗

<減少傾向>

侵入盗は19,944件で、前年に比べ2,739件(12.1%)と侵入盗全般が減少しました。

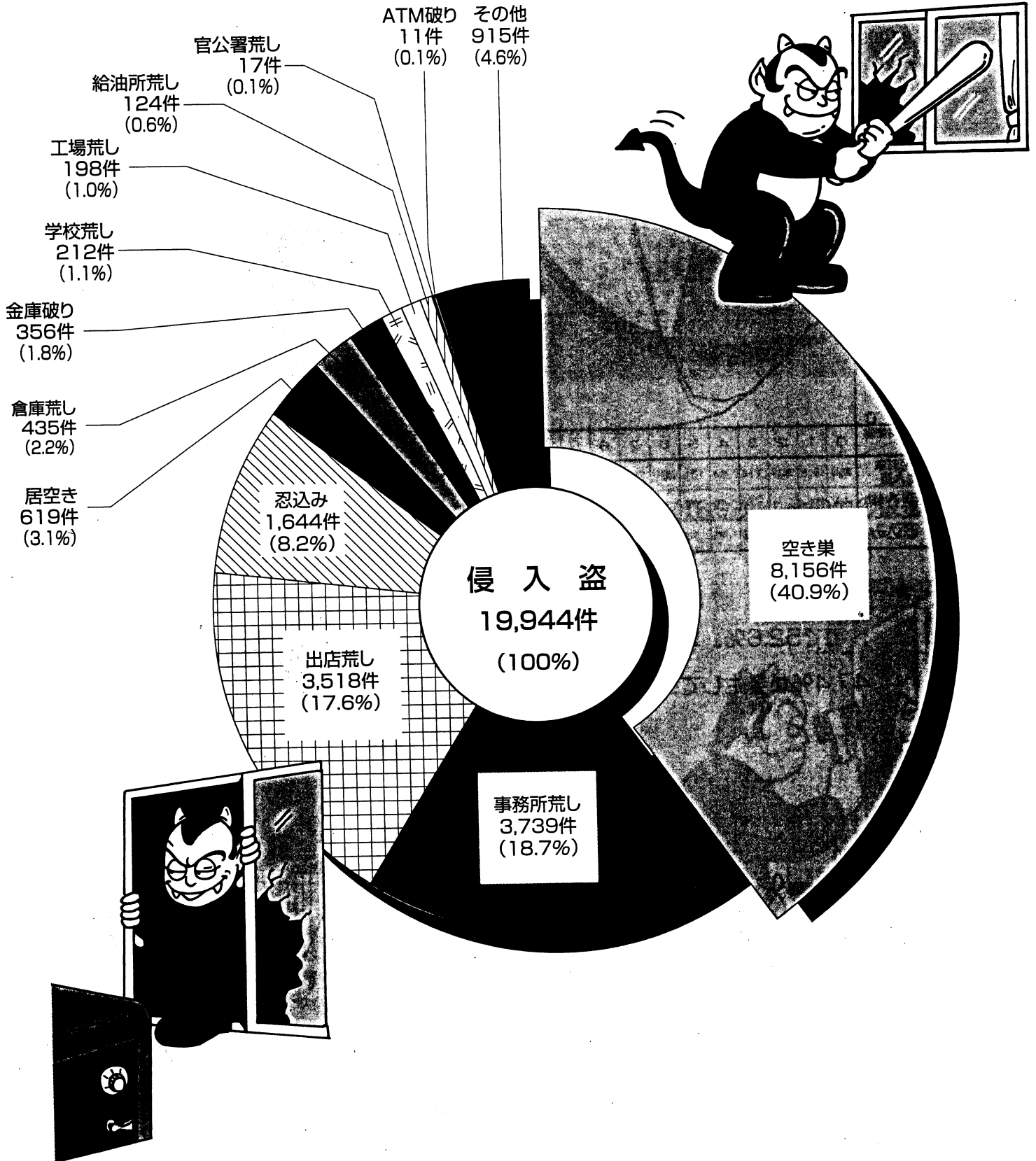


年別	12	13	14	15	16	前年との対比(%)
侵入盗	22,800	25,890	24,891	22,683	19,944	▲2,739(▲12.1)
空き巣	10,177	11,614	11,096	10,735	8,156	▲2,579(▲24.0)
忍込み	1,852	1,657	1,506	1,438	1,644	206(14.3)
事務所荒し	4,222	5,077	4,770	3,924	3,739	▲185(▲4.7)
出店荒し	3,805	4,311	4,195	3,650	3,518	▲132(▲3.6)

★ 手口別発生状況

<空き巣がトップ>

空き巣が全体の40.9%を占め、次いで事務所荒し(18.7%)、出店荒し(17.6%)、忍込み(8.2%)の順になっています。

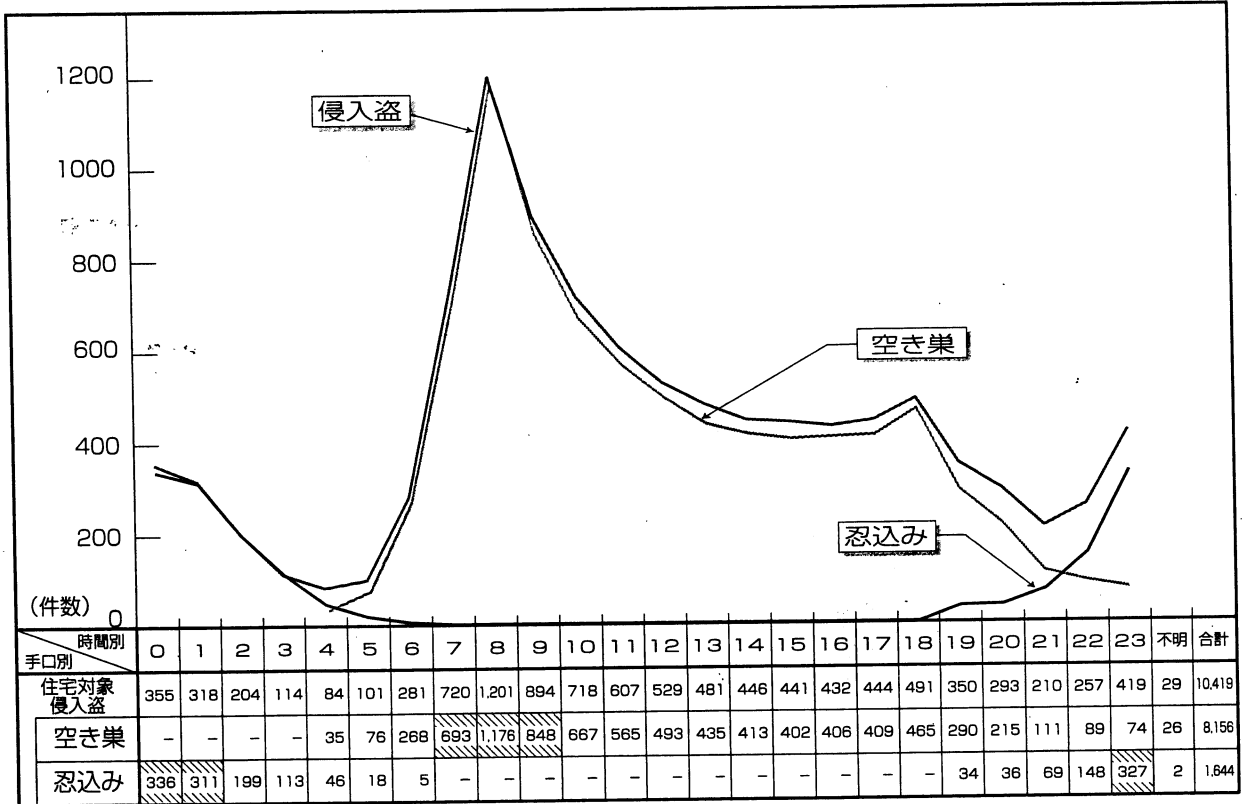




★ 時間別発生状況

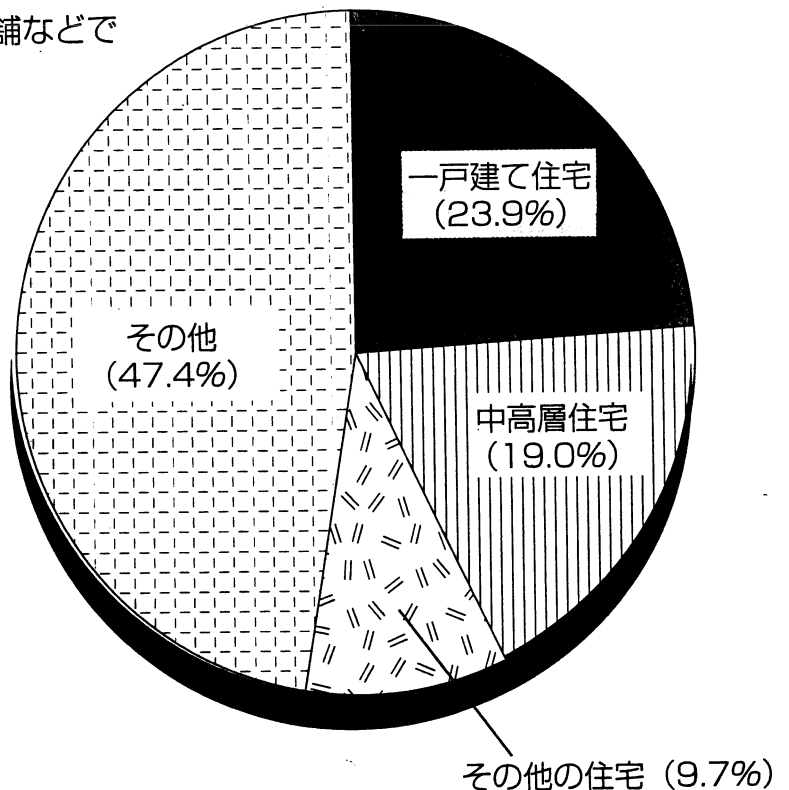
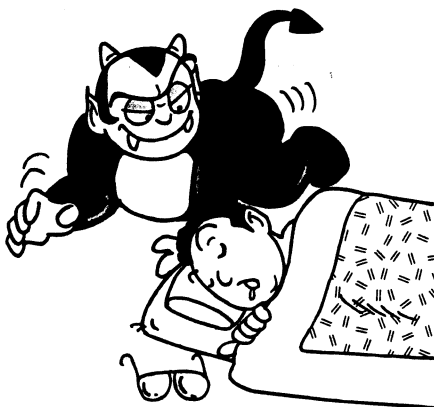
＜午前8時台は空き巣、午前0時台は忍込み発生のパーク＞

空き巣は、午前7時台から午前9時台に多発（2,717件、33.3%）し、忍込みは、午後11時台から午前1時台に多発（974件、59.2%）しています。



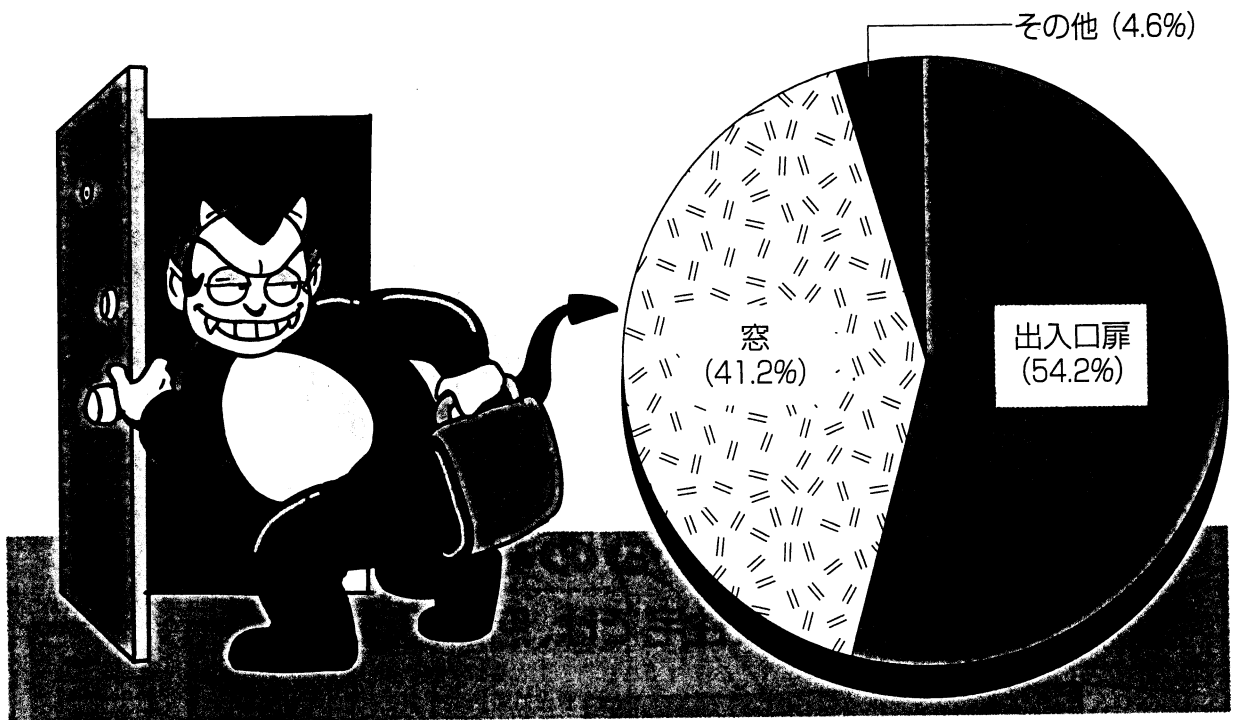
★ 発生場所

住宅で52.6%、事務所、店舗などで47.4%が発生しています。



★ 侵入口

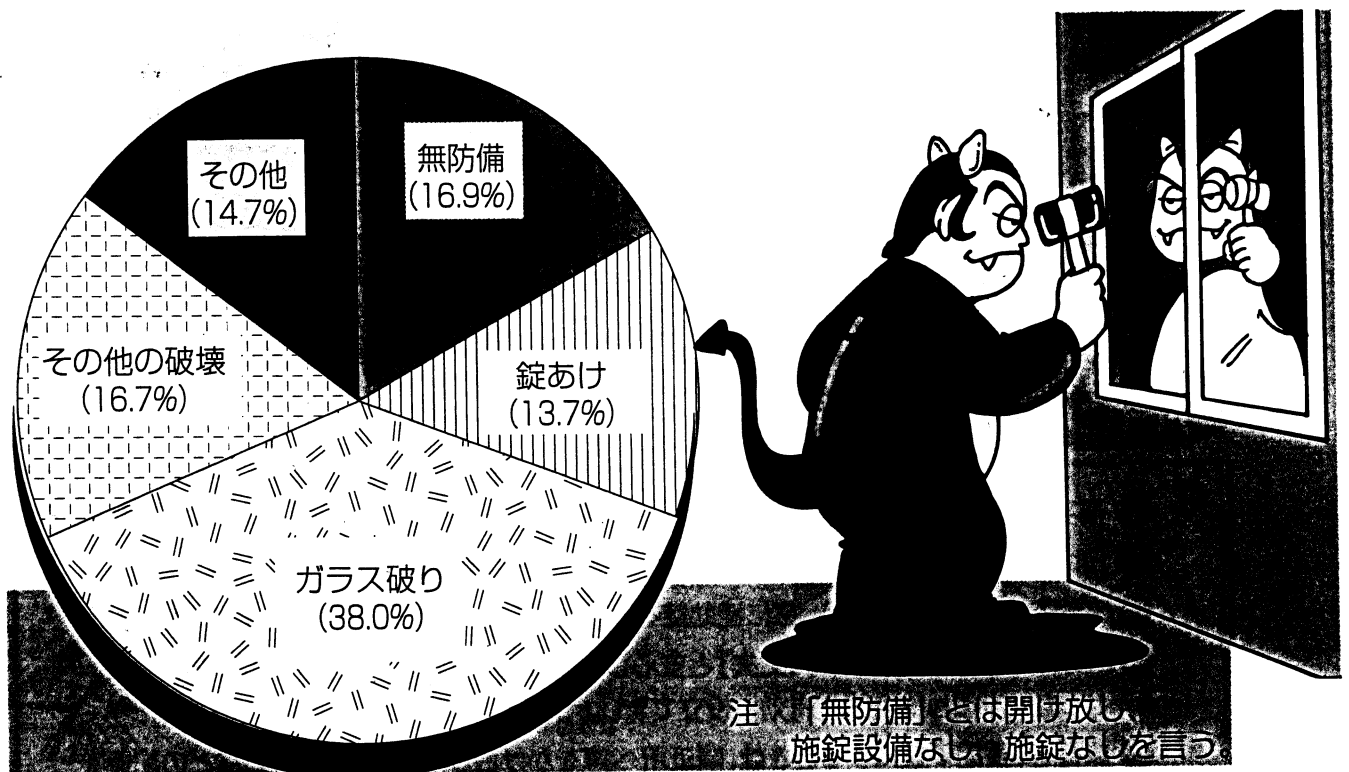
ドロボウの95.4%が窓や出入口扉から侵入しています。



★ 侵入方法

<圧倒的に多いガラス破り>

ガラス破り (38.0%) が最も多く、次いで無防備 (16.9%)、その他の破壊 (16.7%) の順となっています。



注 「無防備」とは開け放し、施錠設備なし、施錠なしを言う